

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

× **数字は仕事にゆとりをなくすと思うのは誤解だ！**

数字で仕事を考え、数字で仕事を進めている人の動きはテキパキしている。数字というと、殺伐として、ともすると自分の首を絞める感じをもち、できるなら避けて通りたいと願う人がいるようだ。しかしそれは、数字に対する偏見と誤解だ。なぜなら、**数字は仕事をスムーズに進める力を持っているからだ。**

数字を無視した言葉に

・ 適当に・そのうち・少し・多めに・まーまー・なんとなく・〇〇気味というあいまいな言葉があるが、あなたはこういった言葉を多用していないだろうか？

※ **数字と真剣さ**

数字の本当の価値を知っている幹部はこう言う。「真剣に仕事をしていれば、数字が飛び交うのが当然ですよ。**仕事をあいまいにしたり、逃げの手を打つことばかり考えている人は、数字を口にだそうとしませんから**」

「真剣になると数字を口に出します。△△さんいつの何時に提案書を出す約束があるのですが、価格の設定を今日の夕方 18 時まで教えてもらえませんか？という具合です。」さらにこう結ぶ。「さらに、数字に固有名詞が付いていて本物になるのです。お客様の値引き要求でも、値引きせよと言われているというのは、あいまいそのもので 0 点の報告。7%の値引きと、数字だけ言うのは 50 点の報告。商品 A が 7%値引きを要求されている、これで本当の報告になります。数字の対象の商品 A の固有名詞が入っているからです。それによって値引き対象の判断ができます。」こう書き連ねてきたが、営業に限ったことではない。

- ・ ひとつひとつの仕事の納期は明確か？
- ・ 何人、いくら、何%など数字を聞かれたときに、あなたは即答できるか？
- ・ 自分の仕事に関する数字を、上司の方がよく知っているというあべこべになっていないか？

あなたは、大丈夫だろうか？

- 1) 数字は何をスムーズに進める力を持っていますか？ ( )
- 2) 仕事をあいまいにして逃げの手を打つことばかり考える人は何を口にしませんか？ ( )

カッコを埋めてください。

- 3) ひとつひとつの ( ) 明確か？  
( )、( )、( ) など数字を聞かれたときに、( ) できるか？
- 4) 自分の仕事に関する数字を、( ) がよく知っているという ( ) になっていないか？